

第30回

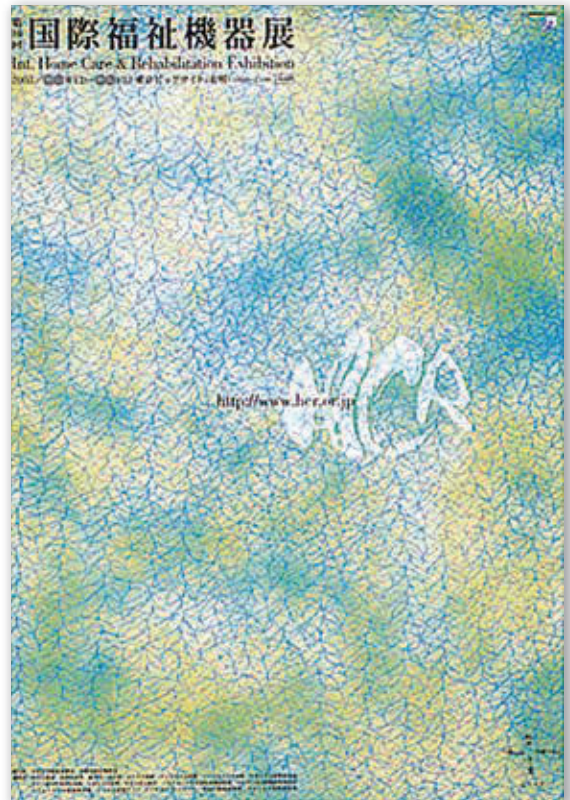
国際福祉機器展 H.C.R.2003

福祉機器の選び方、使い方のセミナーがスタート

2003(平成15)年10月15日～17日

国際展示場「東京ビッグサイト」(有明)

- 新たに「福祉機器 選び方使い方」がスタート。車いす、ベッド、トイレ・排泄用品、入浴機器、住宅改造、福祉車両の6テーマで機器の選び方、利用のポイントについてエンドユーザーや福祉関係者に解説する講座の実施、その理解のためのテキストも作成
- 出展社事業動向調査では、福祉機器市場全体の売上高は前年比105.9%と前回100.6%から続伸の結果。分野別では住宅・施設設備、トイレ・おむつ用品、福祉車両の順で増
- 国際シンポジウム「米国の高齢者医療・介護の現状に学ぶ＝日本の高齢者ケアの方向を探る」は共和党政権の3年が経過したアメリカの高齢者、低所得者、障害者などを対象とするメディケア、メディケイドなどの公的な医療・介護の財政抑制政策や、この分野への企業参入緩和による影響を解説



[第30回 ポスター]

主 催 全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会
 来場者数 138,010人
 出展社数 629社：海外13か国61社、国内568社
 ◆東展示場 1～6ホール



▶ 2003年 「障害者支援法」施行

30回記念特別感謝状を贈呈

30回すべてに出展いただいた企業5社、および25～29回の出展となる企業9社のそれぞれに感謝状を贈呈。また、30回を記念して開会パーティーを開催し、出展社・団体、後援・協賛団体などから関係者500人の参加を得た

30回出展企業

スズキ株式会社、多比良株式会社、株式会社日本アビリティーズ社、ピジョン株式会社、株式会社フツラ

25～29回出展企業

【29回出展】

株式会社日本今仙技術研究所、酒井医療株式会社、帝国臓器製薬株式会社、パラマウントベッド株式会社

【28回出展】

パシフィックサプライ株式会社

【26回出展】

サニーペット株式会社、株式会社日本デベロ

【25回出展】

オージー技研株式会社、三和化研工業株式会社



30回出展により特別感謝状を贈呈した5社

国際シンポジウム

米国の高齢者医療・介護の現状に学ぶ = 日本の高齢者ケアの方向を探る

日本では介護保険制度の第2期の改正に向けて介護関連の事業への参入の緩和や特区などが課題となっていた。一方、アメリカでは、財政の抑制をはかるために医療・介護分野への企業参入が緩和、医療組織が巨大化しはじめていた。その影響により、公的な病院・ナーシングホームなどは経営が困難になっていた。アメリカの最新事情に照らし、日本の採るべき方向性を考察するべく開催した

ジェーン・ホーヴァス氏

前米国保健社会福祉省立法書記官補佐

チューター

多々良紀夫氏

淑徳大学社会学部教授、
元アメリカAPWA(米国公的福祉協会)調査研究部長、
NCEA(米国高齢者虐待問題研究所)所長

シンポジスト

浦野正男氏

社会福祉法人中心会事務局長

廣江 研氏

社会福祉法人養寿会理事長



ジェーン・ホーヴァス氏



多々良紀夫氏



浦野正男氏



廣江 研氏